

海洋政策科学部

【どんな学部か】

神戸大学海洋政策科学部は、学科の中で、「海洋ガバナンス」、「海洋基礎科学」、「海洋応用科学」、日本の海技士育成を支える「海技ライセンスコース（「航海学」、「機関学」領域）」の5つの専門領域を設けています。それらの横断的な学びを通じて、「人と海の関わり」について洞察力を身につけ、海の科学的知見の集積、持続可能な開発、海の平和利用を目指した教育研究に取り組みます。

【各学科の詳細】

○海洋基礎科学領域

→目指すのは、海や社会に活かせる気象学です。

→理学的観点から、海洋に係わる国際的課題や海洋政策を理解するとともに、海洋の成り立ちや、海洋を含む地球システムの物質循環、海洋及び地球環境問題や自然災害、海洋探査技術や海底資源、海洋再生可能エネルギーの開発に関する専門知識を習得することで、持続可能な海洋との共生に資する海の摂理を学びます。

○海洋応用科学領域

→省エネで高機能な船舶や海洋開発機器を生み出す技術を学びます。

→工学的観点から、海洋に係わる国際的課題や海洋政策を理解するとともに、船舶や海洋構造物、海底掘削技術など、将来の海洋技術開発に資するマリンエンジニアリングの専門知識を習得することで、海洋の有効活用を推進し、海洋の利用と開発に資する基盤技術や応用技術の創造と発展に貢献する能力を身につけます。

○海洋ガバナンス領域

→現代の輸送について、様々な角度から学びます。

→経済学など社会科学的観点から、海事・海洋分野における科学技術を理解するとともに、様々なモノ（人、物資、金融など）の流れ、国際ルール、地政、経済、経営、政策、戦略など海洋社会に役に立つ社会科学分野の専門知識を習得することで、人類と海・船の歴史を踏まえ、将来の海洋の平和利用に貢献し、政策立案や海の世界規範の確立に必要な能力を身につけます。

○海洋ライセンスコース(航海学領域/機関学領域)

→船長や航海士の操船判断について研究しています。

→商船学の観点から、船の運航技術と管理、海技士(航海・機関)としての専門知識と技術を身につけます。さらに、「神大海技士」として、グローバルリーダーとしても活躍するため、海洋政策科学の広範な知識・考え方を身につけます。

【4年間の流れ】

1年生	専門基礎科目(微分積分などの、専門を学ぶ際に必要となる科目)と、外国語を主として学びます。また、初めの1年間で海について広く学びます。
2、3年生	各学科に分かれて、海についてより専門的なことを学び始めます。専門分野と副専門分野を選択し、海の持つ多様な一面を様々な角度から学びます。
4年生	卒業研究をします。院進学を考えている人は卒業研究をしつつ院試の勉強を、就職を考えている人は就活をします。

【学部の雰囲気】(男女比→8:2)

人数が多く、内向的な人も外向的な人もまんべんなくいるため、自分に合った人を見つけやすい環境です。女子が少ないので、女子同士で団結力が高く仲良しです。また、学年が上がるにつれて領域やコースが分かれて、一緒にいる人が限られていくのでより一層同じ領域、コースの人と仲良くなります。特に、実際に練習船に乗ることができる乗船実習では、学部の仲間たちと楽しみながら自然と仲を深めることができます。

【時間割の例】※太字は専門科目

専門科目	外国語科目	教養科目・その他
------	-------	----------

○海洋政策科学部(1年生)

	月	火	水	木	金
1	教養科目	微分積分Ⅱ	教養科目	第二外国語	海洋政策科学通論
2	教養科目	第二外国語	基礎物理化学Ⅱ	線形代数Ⅱ	ライティング英語

3			AEL(英語)		海洋実務概論
4	AEC(英語)	力学基礎Ⅱ			海のガバナンス

○グローバル輸送科学科航海マネジメントコース(2年生)

	月	火	水	木	金
1	船舶機関学 通論	流体力学	経済学	応用統計学	ライティング 英語
2	海上交通法	材料力学	応用数学	航海学	電気電子工 学
3	海技実習	基礎プログラミング	基礎ゼミ	海事環境工 学	海事理化学 実験
4	海技実習	アクアティックスポーツ		船舶工学	海事理化学 実験
5	リーダーシップ演習	アクアティックスポーツ	海事国際法		

○グローバル輸送科学科航海ロジスティクスコース(2年生)

	月	火	水	木	金
1	ロジスティック概論		経済学	応用統計学	ライティング 英語
2		経済学	応用数学	数理計画法	応用数学
3	離散数学	基礎プログラミング	基礎ゼミ	海事環境工 学	海事科学実 験
4	ロジスティック 概論	最新舶用機 器技術概論		海事政策論	海事科学実 験
5			海事国際法		

○海洋安全システム科学科(2年生)

	月	火	水	木	金
1	災害科学基礎論	流体力学	経済学	海洋安全システム科学通論	ライティング 英語
2	物理化学	材料力学	応用数学	海洋安全システム科学通論	応用数学
3	海事理化学実験	自然エネルギー工学	基礎ゼミ	電気電子工学	海事理化学実験
4	海事理化学実験				海事理化学実験
5			海事国際法		

○マリンエンジニアリング学科(2年生)

	月	火	水	木	金
1	海技実習	流体力学	経済学		ライティング 英語
2	海技実習	材料力学	応用数学	工業熱力学	応用数学
3	海事理化学実験	制御理論	基礎ゼミ	機構学	海事理化学実験
4	海事理化学実験	最新舶用機器技術概論		電気回路	海事理化学実験
5			海事国際法		

【授業紹介】

・海事科学通論(全領域1年)

1年次に受ける、2年次の領域選択のために各領域、コースのことを詳しく知る授業です。自分の進みたい領域、コースを決めるための情報をこの授業からたくさん得ることが出来ます。

・海のアクティブラーニング(全領域1年)

1年次に受ける講義です。実際に練習船深江丸に乗りながら、海洋政策科学にかかる社会科学から理工学に至る幅広いテーマを海上で能動的に学びます。船上という非日常の空間で、学部の仲間と楽しみながら講義を受けることができます。

・数理計画学(海洋応用科学領域3年)

効率的にモノやヒトを輸送する方法が数学的にわかります。例えば、電車の運行ダイヤ、どれだけ乗客を乗せることができるか、どの駅で乗り換えをすると効率が良くなるかなどを数学で求め出します。普段生活の役に立たないと思われがちな数学ですが、身近なところで使われているなど実感できます。

・海事政策論(海洋ガバナンス領域3年)

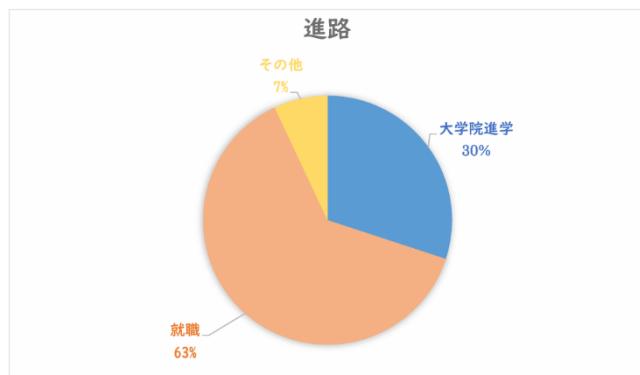
海洋資源開発政策、海洋環境政策や海上防災、減災対策に関する政策を中心とした講義を受けます。一言で言えば海の現場が学べる授業です。生徒がグループになり問題だと思うことをプレゼンし、みんながそれについて議論するという授業は毎回楽しいです。

・船舶実習Ⅰ(海洋ライセンスコース3年)

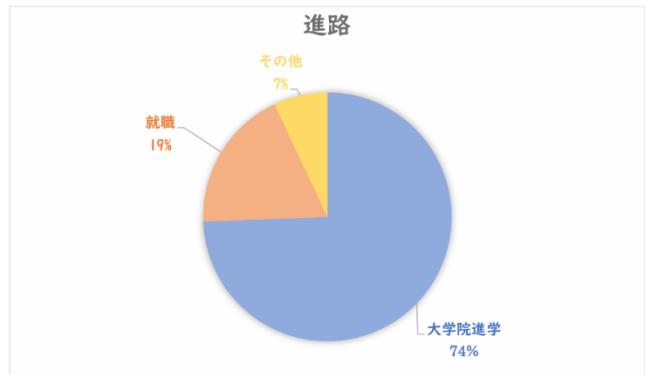
一ヶ月実際に船で生活しつつ、船に関する基礎知識を学びます。船に乗ったという経験は将来絶対役に立ちます。この実習を通して新たな視点で物事を見ることで、自分の知らない世界を知り成長できます。

【大学卒業後の進路】

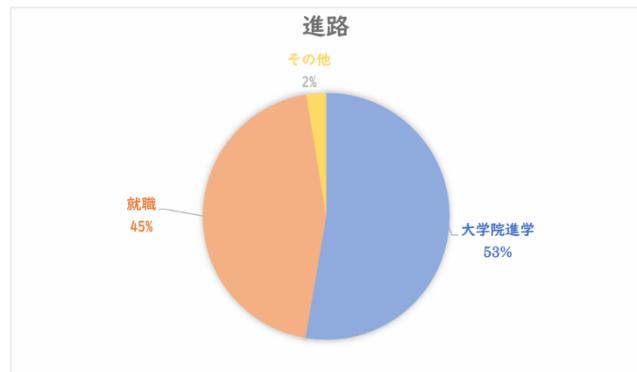
<グローバル輸送科学科>



<海洋安全システム科学科>



<マリンエンジニアリング学科>



【取得可能な資格】

<海技ライセンスコース航海学領域>

海技士免許講習(航海系5種)、登録 ECDIS 講習(Generic)～乗船実習科を習得した場合～

3級海技士(航海)の受験資格、船舶衛生管理者の講習一部免除

<海技ライセンスコース機関学領域>

海技士免許講習(機関系3種)～乗船実習科を習得した場合～

3級海技士(機関)の受験資格、船舶衛生管理者の講習一部免除

【併願校】

私立→関西大学(システム理工学部一般/共)、関西学院大学(経済学部一般/共)、

同志社大学(理工学部一般)

後期→大阪公立大学(工学部)、神戸大学(工学部)、兵庫県立大学(情報工学部)

*一般=一般選抜、共=共通テスト利用入試

【アピールポイント】

- ・実際に授業で船に乗る機会がある。(1年生 Mさん)
- ・2年生になってから専攻を決められるので、何をしたいのか入学してから考えられる。(3年生 Hさん)
- ・工学分野、理学分野、経済分野など幅広く学ぶことができる、また就職も強い。(4年生 Tさん)
- ・チャラチャラした不真面目な人が少なくて大学生活が楽。(1年生 Fさん)